

第55回技能五輪全国大会

とちぎ技能五輪2017

冷凍空調技術職種

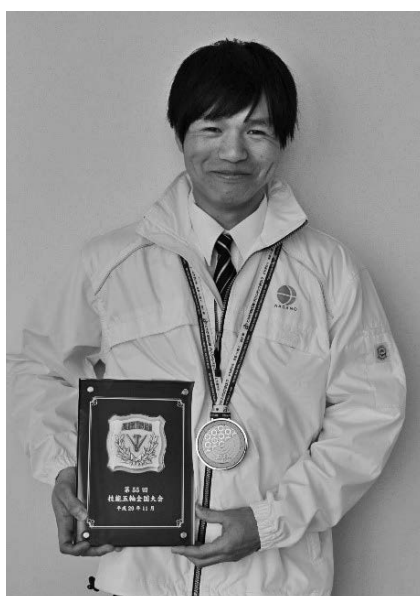
第55回技能五輪全国大会（とちぎ技能五輪・アビリンピック2017）が、平成29年11月24日（金）～27日（月）栃木県で開催されました。大会スローガンは「とちぎから未来へ翔たく技と夢」。

開会式は24日に栃木県体育館で行われました。オープニングアトラクションとして、地元テレビ局で活躍中の歌手のライブ、高校生ダンス部のダンス、子供達による和太鼓演奏、中学生の琴演奏などが披露され、また、大会会長として福田富一知事のあいさつがありました。42職種1,337人の選手達は緊張でそれぞれではなかったかもしれません。

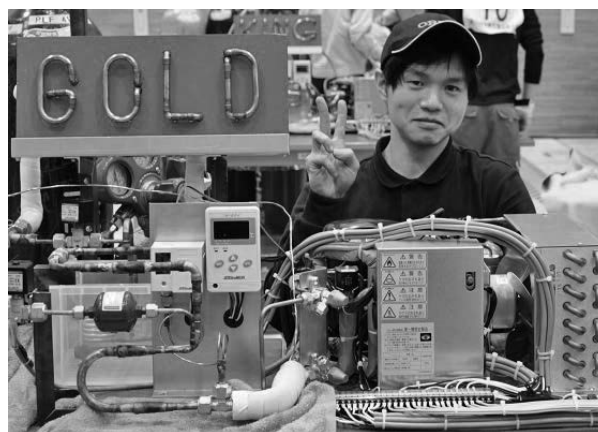
冷凍空調技術職種の金賞は岡田進也選手（所属：オリオン精工(株)、長野県代表）となりました。オリオン精工(株)は初の金メダルです。岡田選手おめでとうございます。その他の入賞者は下表のとおりです。

第55回技能五輪全国大会 冷凍空調技術職種 入賞者一覧

	氏名	所属企業	都道府県
金賞	岡田 進也	オリオン精工(株)	長野県
銀賞	古谷 武将	オリオン機械(株)	長野県
	樋口 五津規	オリオン精工(株)	長野県
	小林 龍	茨城県立産業技術短期大学校併設水戸産業技術専門学院	茨城県
銅賞	吉澤 謙斗	オリオン精工(株)	長野県
	長下 優斗	日立ジョンソンコントロールズ空調(株) 清水事業所	静岡県
	北澤 未鈴	オリオン機械(株)	長野県
敢闘賞	玉木 大介	JR 東日本テクノロジー(株) 大宮支店	埼玉県
	下田 瑛里香	オリオン機械(株)	長野県
	磯 直樹	栃木県立県央産業技術専門校	栃木県



金賞の岡田進也選手



提出課題と一緒に記念撮影

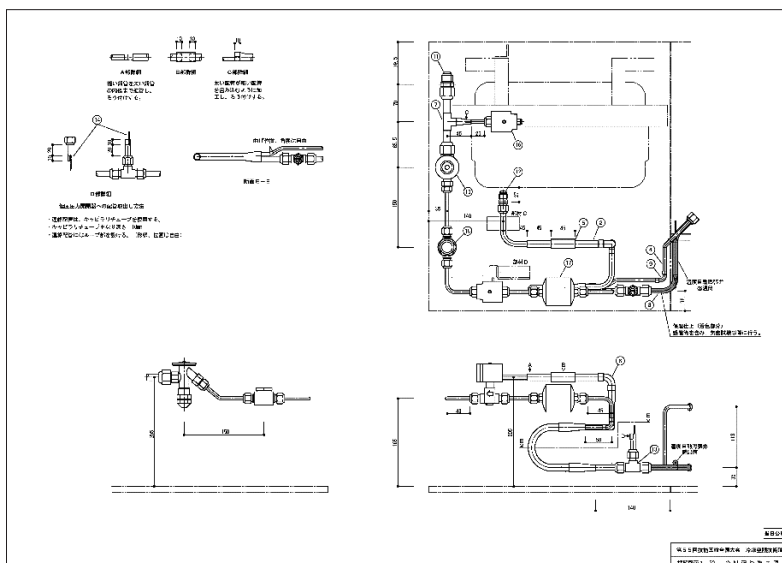
冷凍空調技術職種の競技は、11月25日(土)に、栃木県立県南体育館(小山市)のサブアリーナで行われました。参加選手は過去最高の35名(13県)!過去最大の会場を用意してもらったのですが、それでも会場のレイアウトの関係でギャラリーエリアが非常に狭く見学者の方達にはご迷惑をおかけしました。しかし改めて写真を見返しても圧倒されます。



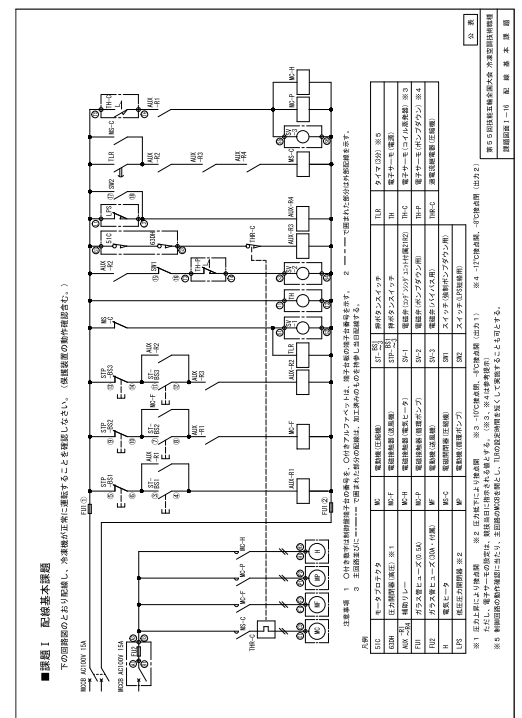
競技開始前の選手達とギャラリーであふれかえる会場

出場選手は各都道府県職業能力開発協会等を通じて選抜された、原則23歳以下の者です。昭和38年から始まった技能五輪全国大会は、将来日本を支える技能者を育てることや「ものづくり」の大切さを知ってもらうことを目的に開催されており、今回で55回目となります。

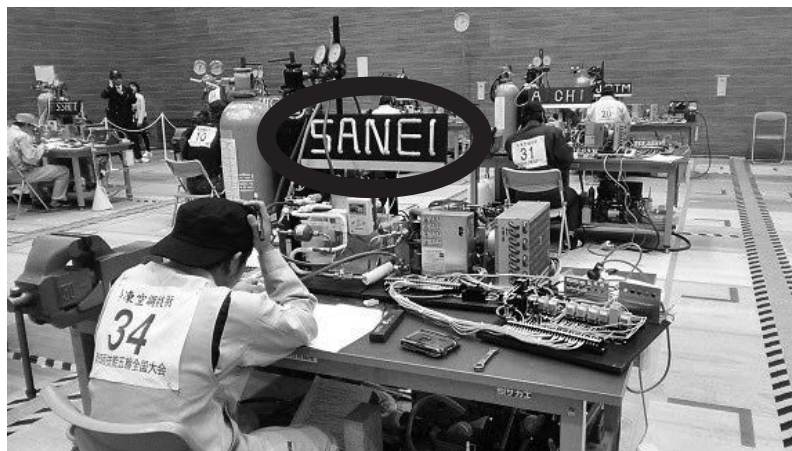
競技課題は国際大会に近づけるべく、コンデンシングユニットを使用して、①銅管を任意のアルファベット型に事前加工した「パネル蒸発器」を着霜させアピール性を高める、②サーモオフ時は装置(蒸発器)内の冷媒をポンプダウンして圧縮機を停止させる、③当日公表される配管寸法と制御追加課題に対応する、④試運転を行い仕様能力が発揮できているかの測定と能力計算処理、⑤タイミングチャート作成を含むペーパーテストという冷凍空調技術の総合的な技術が求められる大変高度な内容となっています。



課題 I 当日公表冷媒配管施工図(左)と配線基本課題(右)



午後は課題Ⅱ（運転データ測定やペーパーテスト）と同時に冷凍機を運転してパネル蒸発器の着霜状態を確認します。



蒸発器の着霜状態（丸で囲った部分がパネル蒸発器）

今大会も、一定基準以上の成績を取めた選手は、1級技能検定冷凍空気調和機器施工の実技試験が免除されます。H27.4月に施行されたフロン排出抑制法により、冷凍空調施工の確かな技術が求められる気運が高まっている今、漏えい対策のみならず、冷媒配管施工要素、気密等各種試験実施、制御配線作業と当日公表の変更対応、p-h線図・空気線図等を含むペーパーテストと、1級技能検定を十分（すぎる？）満たしている内容ですから誰もが納得できると思います。



全参加選手と筆者で記念撮影

設備業者のみならず、メーカー系、専門学校等学生が参加していて、完成できない選手もいる中、学生である茨城県の小林龍選手が銀賞、同じく地元栃木県の磯直樹選手が敢闘賞入賞と、業界にとって将来が非常に楽しみな人材が育成されていると感じます。

次回56回技能五輪全国大会は、沖縄県において、平成30年11月2日(金)～11月5日(月)で開催予定です。引き続き、日設連も競技運営に協力していく予定です。

最後に、今大会では、協賛（材料・機器の無償提供等）を、(株)鷲宮製作所、橋本総業(株)及び(一社)栃木県冷凍空調工業会冷凍空調設備部会にいただきました。お礼申し上げます。